

健康まつり in みとよがマリノウェーブで開催されました。催し会場では、脳ストレスやメタボ度チェック、骨密度測定などがあり、訪れた皆さんは測定したあと、食生活などについて栄養士や保健師に相談していました。また、昼からは大野原腹踊り同好会の腹おどりや、『笑いで心と体を活性化』と題して、日本笑い学会会員の隠岐和之氏（内科医師）による講演会がありました。



10/28



10/28

わいわい・がやがや・つり大会が鳶島と仁尾港周辺で開催され、約80人が参加しました。絶好の釣り日よりの中、各自思い思いのポイントに分かれて釣り開始。キスやベラ、カレイにアオリイカ、チヌ、ボラなどが釣れました。家族のふれあいの場も持て、みんなでわいわい釣りを楽しみました。

香川県総合運動公園で第17回香川県健康福祉祭（香川ねんりんピック2007）グラウンドゴルフ競技会が開催され、豊中町の篠原 清さん（90歳）と国土 キヨミさん（86歳）が、それぞれ最高齢者賞を受賞しました。いつまでもお元気で、ご活躍ください。



10/21

みとよHOT ほっとNEWS



10/20

粟島海洋記念公園武道場で、三野町の讃岐源之丞保存会の皆さんにより、人形浄瑠璃の公演が行われました。会場となった武道場には、かつて粟島にあった芝居小屋「新生館」の幕が再現され、130人も参加者が島内外から訪れ古典芸能を堪能しました。



11/1

財田川に架かる西光寺橋（市道大辻下大野線・山本町）の架け替え工事が竣工し、開通記念式典が行われました。地元の人や工事関係者等が参加し、神事、テープカットのあと、大野幼稚園の鼓笛隊の先導で渡り初めが行われ、新橋の完成を祝いました。

県庁で教育文化功労者表彰式が開催され、仁尾町の家浦二頭獅子舞保存会（県指定無形民俗文化財）が文化財功労者として受賞しました。長年にわたり獅子舞の保存と伝承に努め、国立劇場公演に出演するなど、民俗芸能の普及に寄与したことを評価され、今回の受賞となりました。

10/31





11/4

さぬきの郷土芸能まつりがマリンウェーブで開催されました。これは、毎年開催されている「獅子舞フェスティバル」と、「香川県高等学校総合文化祭郷土芸能発表会」とが連携したもので、各地域に伝わる獅子舞や、高校生による郷土芸能が披露されました。満員の会場には太鼓の音が響き渡り、終始熱気に包まれました。

かがわ緊急サポートネットワーク/ファミリー・サポート・センター（略してファミサポ）開設記念フォーラムinみとよが市役所山本支所で開催されました。ファミサポとは、地域の中で「子育てを援助したい人」と「子育てを援助してほしい人」が、一時的な預かりを助け合う有償ボランティアのこと。パネルディスカッションでは、先進地である北海道や松山のセンターの人が、自身の実体験を元にファミサポがあって非常に助かったとお話があり、当日参加したお母さんたちは熱心に聞き入っていました。

11/10



10/28



朝日山森林公園で恒例の秋まつりが行われました。公園の木々が少し色づき始めた朝日山は、家族連れなど大勢の人が訪れ、イベントに参加したり、思い思いの場所で遊んだりして終日にぎわいました。



11/7

大見幼稚園の園児がそろいののはつびに身を包んで防火パレードを行いました。ミニ消防車を先頭に、「とじまり用心 火の用心。子どもの火遊びはやめましょう！」と鼓笛隊に合わせながら元気よく行進しました。（写真は園内でのミニ消防車試乗）



10/21

アイランドウォーク瀬戸内が行われ、5歳から80歳までの総勢81人が参加しました。秋晴れのもと、詫間港より船で大三島に渡りウォーク開始。現地ボランティアガイドの案内で歴史文化に触れながら、約12kmの島歩きを楽しみました。



11/16

財田幼児教育センターで焼きいも大会がありました。サツマイモは、センター隣の畑で園児たちが世話をして大切に育てたもの。保護者が持ってきた木材を燃やした灰に、アルミホイルで包んだサツマイモを入れて、待つこと1時間。焼きいもは甘くてホクホクに出来上がりみんなでおいしくいただきました。



11/11

第1回みとよロボット交流会が、みの観光館で開催されました。「今日は一日ロボットざんまい」と題して、ロボットやリモコンカー、次世代ブロックなどで好きなだけ楽しめるイベントに、約300人の園児や児童、保護者の皆さんが訪れました。今年も高専ロボコン全国大会に出場する、詫間電波高専のロボット『ギャラクシー』によるデモンストレーションや操縦体験もあり、子どもたちは目を輝かせていました。